

# ホラネロ

北海道オホーツク圏(津別町・遠軽町)を拠点に活動する  
フルートとギターによる夫婦ユニット「ホラネロ」。

その名はシンガー・ソングライターの樋口了一氏により命名された。福島県の子守歌「ホラねろ、ねんねろ」に由来する。第一線で活躍中の作・編曲家 本田優一郎のアレンジにより多彩なプログラムを展開。主なレパートリーは、北海道ゆかりの素材(ヒグマ、流水、黒曜石、農作物、森林、開拓)で作曲する“ジオミュージック”や、だれもが口ずさむことのできる“日本のうた”。“ジオミュージック”とは、郷土愛溢れる人々との出会いや感動体験をきっかけに、その地域ならではの

“音”を探して作曲するホラネロ独自の音楽スタイル。  
2019年9月には第45回北海道議会 議場コンサートに招聘され、代表的なジオミュージックを披露した。

国内のみならず、海外ではトルコ共和国(2014年)、フィンランド(2016年)で文化交流を目的としたコンサートに出演。メディアではこれまでにNHK総合「おはよう日本」「おはよう北海道土曜プラス」「北海道クローズアップ」「ほっとニュース北海道」「オホーツク心の風景」や、NHK BS ワールドプレミアムで取り上げられるほか、AIRDO 全便機内オーディオ放送でホラネロのチャンネルが採用される。CD「ドコマデモ」「FLOWERS」「ヒンメリア」「ヒグマのうた」リリース。(ネットショップBASE『HORANERO』玉光堂の主な店舗、遠軽町木楽館、ランプの宿森つべつ、ノノの森ネイチャーセンターなどにて取扱い中。)  
第13代オホーツク観光大使。

## 音探し遠足

出会いからはじまる ジオミュージック  
～そこに暮らす人々と ふるさとの“音”で曲づくり～



【知床】「故郷の魅力を子ども達に伝えたい」という学校の理念を基に、地域学習として“音探し遠足”をしました。枝木琴を叩き、その場でヒグマ笛と合奏もしました。ヒグマの糞となる木の实や木の葉で打楽器を作り、最後は学校でコンサートを開催し、地域住民の皆さんに披露。その様子はNHK総合「北海道クローズアップ」で特集されました。  
制作曲「ヒグマのうた」

【札幌】札幌の滝のすずらん丘陵公園でも、ボランティアガイドや一般市民の方と音探し遠足をしました。野生動物との共生について学びながらオオイトドリやネマガリダケでも楽器を作り、みんなで大合奏！



制作曲「いのちの森」「ネマガリコーダー」



【訓子府】小学校スクールバンドのみなさんと、くねっつ歴史館の方にガイドしていただき、開拓の道具に触れ、音を奏でました。集乳缶、犬釘、木挽鋸などを使ってその場で即興演奏も！見つけた音や子供たちの歌やリコーダーを使って出来た曲は、コンサートで共演しお披露目。清らかな歌やかけ声に、会場が感動に包まれました。  
制作曲「北のひかり」



【遠軽】麦わらのモバイル“ヒンメリ”で町おこしをする農家女性グループと『えんがるヒンメリプロジェクト』として麦畑を活用したイベ

ントや、ヒンメリ作品と音楽を融合させた展示コンサートを開催しました。  
制作曲「ヒンメリア～麦がつなぐ人と大地～」

【フィンランド】「えんがるヒンメリプロジェクト」として渡航し北欧文化やヒンメリ作りを学びました。また、フィンランドから遠軽町に講師を招いて展示コンサートや文化交流を行い、友情を育みま



【遠軽】世界有数の黒曜石の産地でもある遠軽町。鹿の角を使用した石器作りで生じる様々な音を、録音して融合させました。同じく黒曜石の産地で知られる長野県長和町と交流する機会があり「黒曜石のふるさと祭り」のコンサートに招聘されました。  
制作曲「Obsidian song」

【紋別】流水科学センターを取材し、流水の擦れ合う鳴き音、氷琴、雪を踏みしめる音をサンプリング(録音し曲に取り入れる技法)し、氷点下におけるオホーツク海の風景を音で描きました。  
制作曲「Singing Ice」



【雄武】鮭定置網漁を道具作りの過程から取材し“音探し”しました。雄武漁協では、網針(アバリ)や縄縛りの伝統技術が今も次世代に受け継がれています。制作曲「アバリ」

# 奏者プロフィール

Flutist 谷藤万喜子 Makiko Tanifuji



東京学芸大学卒業後、東京芸術大学大学院音楽研究科(室内楽専攻)を修了。同大学院在学中に、野村学芸財団より奨学金を授与される。フルートを榎本吉雄、山崎衆、三村園子、室内楽を金昌国の各氏に師事。'98年度大曲音楽祭コンクール入賞。NHK-FM 洋楽オーディション合格。同局「午後のリサイタル」に多数出演、2010年にモーツァルトのフルート四重奏曲全曲演奏を行うなど、首都圏を中心にオーケストラ、室内楽、リサイタルなど多岐にわたるステージを展開。2004年北見芸術文化ホール主催「オホーツクの風土が生んだ音楽家シリーズ・谷藤万喜子ピュアフルートコンサート」に出演。ホラネロではフルートのほかにヒグマ上腕骨の骨笛や、オオイタドリやネマガリダケなどのオリジナル笛を演奏。オホーツク・フルート倶楽部 講師。オホーツク音楽工房 代表。

Guitarist, Composer, Arranger  
本田優一郎 Yuichiro Honda



東京学芸大学教育学部音楽科卒業。金田潮兒、伊藤康英各氏に作曲を師事。宇多田ヒカル、THE ALFEE、高見沢俊彦、大黒摩季、ベッキー♪＃、樋口了一らの作品やライブに作編曲、ギターリストとして参加。映画音楽では「CASSHERN」「Beat kids」に作編曲、ギター演奏で参加。NHK みんなの歌で放送の『幸せのカバン』（ベッキー♪＃／歌）に作編曲、ギター演奏で参加。樋口了一の日本レコード大賞優秀賞作品『手紙～親愛なる子供たちへ』の編曲を手がける。また、北海道テレビ放送の「水曜どうでしょう」において『1/6の夢旅人 2002』に編曲、ギター演奏で参加。TV 主題歌、CM など現在も多岐にわたる作編曲を提供している。ノノの森ネイチャーセンター 自然ガイド。オホーツク・ギター倶楽部 講師。

## その他のおもな作品

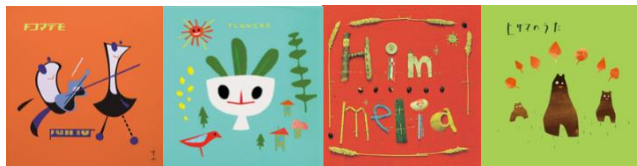
The Second Frontier(津別町開町 100 周年記念)  
森林鉄道物語(丸瀬布いこいの森の北海道遺産  
“雨宮 21 号”にまつわる作品) ……以上、本田作品  
摩周湖を渡る風(弟子屈町公民館 50 周年記念曲)  
Heart Beans～白花笛にのせて～(北見の代表作物  
のひとつ、白花豆の支柱で作られた笛を使用)、  
……以上、谷藤作品

日本のうたシリーズ(本田優一郎 編曲)  
～次世代に受け継ぎたい 祖国のうた～  
ホラねろねろ(福島のこもりうた)  
ソーラン節 北海盆歌(北海民謡)  
こきりこ節(富山民謡) 砂山(中山晋平)  
ほたるこい ずいずいずつころばし  
さくらさくら 知床旅情 宗谷岬 など

## 演奏スタイルは自由自在

本田によるアレンジで既存の曲を演奏するステージや、地域の音楽団体との共演も可能です。ご相談ください。

ホームページよりCD(各税込 2,500 円)販売中



【出演・企画制作・レッスン等についてのお問い合わせ】

オホーツク音楽工房 代表 谷藤万喜子  
〒092-0224 北海道網走郡津別町字豊永 58-2  
携帯 090-8311-3345(谷藤)  
Email omf@horanero.com

ホラネロ  
ホームページ



CDショップ  
HORANERO



「ヒグマのうた」  
Youtube

